

長泉町・さわやかハイキング報告書

通算山行NO	個人山行	報告者	永尾 広
年 月 日	2008年10月05日(日・晴)	2万5千	愛鷹山
山 名	愛鷹連峰・大岳(1262m)～鋸岳～位牌岳(1470m)		
鋸岳はエキサイティングだった			
コース とタイム	下土狩6:00 - 大柵公園発6:45 - 須津山荘6:15 - 1014m峰8:50 - 大岳8:50 - 呼子岳10:00 - 割石峠10:20 - 鋸岳11:15 位牌岳12:20～13:00 - いっぱく峠 袴腰岳13:40 - 須津山荘分岐15:20 - 須津山荘16:40 - 下土狩17:15		
標 高 差	上り = 大柵公園約350m～位牌岳1458m = 約1100m + 100m 下り = 位牌岳1458m～大柵公園350m = 約1100m		
参 加 者	CL・後藤隆徳、永尾 広、井上弘二郎、石和和子		

今日の山行は、天気の状態がいまいちはっきりしないので当日の朝、電車で沼津アルプスに行くか、車で愛鷹山に行くか決めるとのことので三島駅に5:45に集合しました。

ところが、今日の天気は良いということで、後藤講師の車で行くことになり、愛鷹山の須津口から大岳、呼子岳、位牌岳、袴腰岳、第一展望台、須津沢経由の山行になりました。

大柵公園6:45着、各自準備体操を済ませ、ハーネスの付け方を教わり、ヘルメットを持って須津山神社まで林道を30分歩いて大岳登山口から登りました。結構急な登りで、身の丈ほどの笹がトンネルを作っていました。しゃがんで通りたいもののきついので、笹をかき分けて登りました。顔や首に笹が当たって痛い、それでも先頭はグングン登って、休む暇も与えてもらえない、今日はA隊もB隊もないから逃げ場もない。来たことを後悔しながら汗だくになりながらも付いてゆく。

8:50大岳1262m着休憩。チョコレート、菓子パンを食べて元気を取り戻す。ここから先は廃道の道標のある、道があるようなないような急な下りを草木につかまりながら下った。Gさんから、ブナの苗木を引っ張るなど怒られながら。

呼子岳1313m着。ハーネスをつけ、ヘルメットをかぶって鋸岳へ向かう。こんな場所を進めるかと思うほどの崖、岩場、錆びて切れそうな細い鎖、下を見れば深い谷、落ちたら死ぬと思いながら、鎖を頼らないようにそっと岩から岩へ足を置きながら進む。今度は鎖を使って崖登り。Gさん、Iさんが上っているときは休憩ができるので楽です。Iさんが谷でザイルの使い方を誤り危険なこともありましたが、みんな無事通ることができました。

11:15休憩。ここから位牌岳に向かう。足場が草で見えない斜面や梯子、鎖場を登り、ぜいぜい言いながら進む今が一番つらい時だ。Gさんからあと30分の掛け声が聞こえる。ザックに冷たいビールがあるからもうすぐ飲めると、自分を励ましながらぐんぐん登る。

12:20着。心拍数を全員同時に計ったら160くらいで、ほぼ同じでした。やっと昼食です。ビールが美味しい。

13:00 袴腰岳に向かって出発。栄養補給とアルコールでパワーを取り戻し、あとは下りだし鳥兜の花はたくさん咲いてきれいだし、るんるん気分で尾根を歩いてすぐにいっぴく峠。ここは鋸岳がよく見えます。危険だったけど登ってよかったと思いました。今度は位牌岳から鋸岳にいきます。

すぐに袴腰岳 13:40 着。1248m。第一展望台に向かい出発。景色のない笹藪の溝のような急な下りを、何度も転びながら第一展望台に 14:20 着。展望台なのに展望がない。椅子が幾つか置いてあって、少し広がっている。海の見える方向には樹木があってその向こうは見えない。期待していたのに残念でした。第二展望台はあるのでしょうか。

笹藪を抜けると杉林にでる。登山者が来ないように道が荒れていて分かりにくい。一箇所沢状のところが崩れていて道が不明。降り過ぎて上り返した。

15:20 林道に出て 30 分、舗装道路を下り、本日の山行を無事終えました。お疲れ様でした。後藤講師「だんだん」。皆様と楽しい山行ができてよい思い出ができました。

注 = 永尾さんは、島根出身でNHK朝ドラ「だんだん」の言葉を日常使っていたそうです。

「・・・・。だんだん」(今度、皆で使おう~)



呼子岳頂上



大岳から富士山



大岳～呼子岳間から
位牌岳



鋸岳に行く



後が大岳

位牌岳頂上



いい感じの森

トリカブト

